



日刊夕 日七月二十

平市内に強盗盗潜入

昨夜半の捕賊演習

驚かされた全署員の活動

平署では毎年冬の行事捕賊演習の非常召集を昨七日午後十時半に發令管下全員の就寝時を驚かした今年の想定は

茨城縣助川町上町の吳服店上州屋上石市太郎方妻の錠を脱し奥八畳に寝て

いた夫妻を起し二名の賊の一名は出刃を突きつけ地方

辯で一人助けのため金が要る願ぐと爲めならぬ在命

を出せと脅迫したが之に應じなかつた爲め店主を傷

け隣室の手提金庫から五百二圓(十札札五十枚、五十

錢銀貨四、五枚外に受領書類)を強奪逃走所轄署の

網を潜つて国道を東進し後約三十分前に自動車中平市

に引き潜入の事ありと云ふものに逸早く駆つけた

警察官が夜半に至る活動の結果賊の一名に捕された(元上

川刑事)は合せて取つた持柄で巧みに難關を脱しつゝあつた

が同夜十二時半頃市内常銀支店協で遠藤、富井兩巡査に捕

へられ同じく擬賊の矢吹特高部長は市役所前自動車の中

に平左工門をきめてるところを渡邊巡査外數名に包圍され

て遂に逮捕後演習を閉じて休養午前六時から同署演習場

に武道試合を行ひ同七時半富澤検事その他の臨席あり署の會

議室に簡素な慰勞宴を催して散會した

一日完納組合として村役場の表彰を受け奨励金四圓五十錢

を受けたものを其まゝ組合員九名を代表する佐藤喜一郎氏

の名で祝辭金した

平署の武道試合

平署では夜半の捕賊演習後の今七日朝武道競技を行つたが優勝者は左記の如くである

▲剣道一等本田警部補 二等矢部部長 三等猪狩巡査

▲柔道一等渡邊武巡査 二等野地巡査 三等庄司巡査

▲柔道一等渡邊武巡査 二等野地巡査 三等庄司巡査

▲柔道一等渡邊武巡査 二等野地巡査 三等庄司巡査

▲柔道一等渡邊武巡査 二等野地巡査 三等庄司巡査

▲柔道一等渡邊武巡査 二等野地巡査 三等庄司巡査

▲柔道一等渡邊武巡査 二等野地巡査 三等庄司巡査

▲柔道一等渡邊武巡査 二等野地巡査 三等庄司巡査

銃後農村の備へに

勿來町立農民道場

三千余圓で明年度に創設

石城郡勿來町は郡南に於ける主要地であるが豫て有士の間に語られていた町立農民道場の計畫が愈々明十四年度に創設を決した右は今年度の長期建設に則し銃後の完備を期すべく中堅的農民を養成する目的で工費三千餘圓を豫算する道場の設備に教舎三十二坪の外農具舎、簡易乾燥場、

納税組合奨励金を國防費に献金

石城郡上遠野村の土橋納税組合では納税週間期間中の去る

年末始の営業時間

平市で来る廿日から延長

平市商工會では来る年末始賣十日に至る二十日間の営業時間等には割引または景品を祭られた趣旨に基づき例年行はれた各町内商店の聯合賣出しや個人の賣出しを止める代りに来る二十日から明春一月

戦地軍候馬の鍛錬を

の便 痛切に感じ申候

平市久保町出身 荒川 一郎

(前文省略)中支の地に二ヶ月半を過し秋を迎えました。が未だ〜日中は暑さ厳しく百度近くなる日も稀ではありません。而し夜間は氣温非常に低下し毛布三枚位使はなければならぬ、大陸的氣候に依然として下痢患續出また敗軍の媒介によるマラリアの流行、敵は少しも恐れざる我が隊もこれに備はされて居ります。大して頑健と云ふ身でなかつた小生は銃後皆々様の御鞭

常識講座

シンメトリーは釣合ひまたは取合せ對照或は調和、相似の意だ、だからシンメトリーを好むと云へば變化を好むこととなる、シンメトリーカルは釣合ひのよい事、均勢のことである

銃後施設の打合

石城郡高久村では明後九日同村小學校に於て村内各種團體聯合會幹部會を開き縣社會課から松田重次氏の出席を求め銃後施設その他に關する協議打合せをなす

昨日の赤井山火

昨報石城郡赤井村の山火事は同村炭燒業者松登五三所有松林内の炭籠から飛火したもので消防、青年團その他の出動に夕刻鎮火したが折柄の烈風で松及び雜木林十町歩に延焼

防空訓練の成績

本田平署長の講評

普通居内燈に付ては戸口調査的に毎戸について懇切丁寧な調査と指導を致しまして模範的な管制を爲したる者には模範管制として一般參觀せしめ又適當なる管制を爲したるものには合格證を與へまして、一戸も不合格者を出さぬやう計畫を致しました結果大体に於て良好な成績を収め得たものと被

入營祝ひに寄附

石城郡高久村出身身置濱市現任員細工商鈴木平重氏は今次事變を控いて入營したる長男の祝ひに母校の同村小學校へ貧困兒童の學用品に充て、欲しいと金十圓を寄附した

簡易保險の藥局

平市藥劑師會が簡易保險の調劑を各戸に應じられてゐたものを患者の便をはかるため同保險健康相談所に近い市内銀座通りに同會の藥局を設置し小野藥店の擔任で去る五日から開店した

植田校一坪農業

石城郡植田町小學校に於ける一坪農作物品評會は来る十一日同校講堂に於て開會審査の上優良品に褒賞を贈ると

松月のたひら羊羹

衛生試験所の折紙 平市に於ける菓子店老舗同市銀座通り松月堂菓子重次商店の特製する「たひら羊羹」は一般から愛された品として知られてゐるが本年の梅雨期に於て東京市衛生試験所の検査を求めた六月二十八日から七月二十七日に於ける三十日間土用までの試験の結果は差出されたボール箱詰め銀紙包み黒楊色の同品に左記の如く優秀なる折紙をつけられた

産業組合の指導

石城郡下に於ける新設産業組合に對する事務指導は縣の經

昨日の赤井山火

昨報石城郡赤井村の山火事は同村炭燒業者松登五三所有松林内の炭籠から飛火したもので消防、青年團その他の出動に夕刻鎮火したが折柄の烈風で松及び雜木林十町歩に延焼

防空訓練の成績

普通居内燈に付ては戸口調査的に毎戸について懇切丁寧な調査と指導を致しまして模範的な管制を爲したる者には模範管制として一般參觀せしめ又適當なる管制を爲したるものには合格證を與へまして、一戸も不合格者を出さぬやう計畫を致しました結果大体に於て良好な成績を収め得たものと被

本市銀座通り 松月堂

電話二〇六番

兵隊さんの慰問品に

郷土色豊かな たひら羊羹

所賣販

東京丸ビル二階 福島縣物産陳列所 平驛前 佐原屋 平驛 構内賣店 平驛 ホーム立賣 電話二〇六番

産業

千メートル迄 深海漁業(下)

たゞ深海漁業は漁場も未だ明確に見えておらず、専門的な漁具もないのでこれ等が今後の研究にまつべきものとされてゐる、右について国立水試の酒井技師の語るところを上げれば、

深海漁業は従来顧みられなかつたのが不思議なぐらいなことであるが燃料の節約や漁場の荒廢防止などの點から見て奨励したいものである、しかも調査によると深海の魚類は概してグイタミンの含有量が多く現に青森地方では従来棄てゝかへり見られなかつた深海魚類の肝臓が十貫目で九十三圓と云ふ高値を呼んでゐる、今後漁場の調査が出来て漁具類なども深海に適當したものが見えれば益々發展すると思ふ、

なほ農林省では深海漁業に関する振興會議を開いて全國の水試技師と衆智を集めることとなつた、

深海漁業は右の如く進められてゐるが北海道水試函館支場では水深千メートル以上の深海延縄漁業の試験に成功したので今十二月から船上で実施することとなつたがこの漁業は我國最初のものでワイヤー式延縄と云ひ巨根を漁獲するが東海岸山、若小牧沖合十七哩から廿ノ里までの深海で新漁具を掛指すと云つてゐる右につき国立水試酒井技師の語るもの上げる、

ワイヤー式延縄は深海漁具として最も新しいもので

業界が期待してゐる、ワイヤー式延縄はこれを力網としてそれに普通の延縄を張つたものでは仕掛は簡單であるが、これだけの考案がなかなか出なかつたものである、今後どしどしこの種の漁具が發案されることを望む(元)

皇軍戦勝三冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 豊富陳列 漸新型

子供帽子 中折帽子

お醤油は ヤマフル

醤油味増 たっぷり正宗 鯉節食料品

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話 一〇七〇番

山崎合名會社

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎

平市田町 電話六九二番

院醫尻江

安流丸

特約 山野通運部

木村病院

院長 木村寅次郎

醫學博士 内木宗八

藥劑師 大岩俊雄

本市新川町九一

入院隨意 病室完備

電話 一六四番

高久病院

院長 醫學士 高久忠

内科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平市田町 電話五二三番

カバと洋品類

眞砂屋

（電話五六五）

（前驛、市平） （り通道新）

帝國海上火災保險株式會社

安田系統の帝國海上

平代理店 關内正

平町二丁目 電話一六番

事務取扱者 阿部助次郎

平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏

院主 鈴木定藏

内兒科 院 長 鈴木定藏

一般外科 副 院 長 高橋俊幸

皮膚泌尿器科 部 長 鈴木定藏

物理療法科 部 長 鈴木定藏

藥劑科 部 長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)

診療科目

一、齒科一般 保存科、補綴科、齒槽工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、レントゲン科

一、口腔外科

一、レントゲン科

平市田町(松月堂向ヒ)

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野憲次 日大齒科醫學士 堀谷伍郎 補綴部主任 佐藤重義

電話五〇九番

新日

金屋商店

根本婦産科醫院

根本莊次郎

根本貞雄

電話三四番

(入院隨時)